

学生へのメッセージ 「医の道」



No.13 令和4年3月7日(月) 2022-5号 (隔週発行)

発行責任者: 神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校理事長、新須磨病院院長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

◆コロナ関係

3月3日現在での感染者の状況

世界 4億4018万人 死者597万2810人

日本 522万2081人 死者2万4413人

兵庫県 27万1567人 死者1863人

いづこも、凡そ20人に1人の感染となっています。

日本の新規感染者数は1日数万人と高止まりの状況が続き、沖縄県ではやや増加傾向がみられます。

外来患者さんでも既感染者が珍しくなくなりました。ひとりの感染者が出ただけで大騒ぎしていた2年間とは隔世の感があります。いずれ5類感染症に格下げされるでしょうが、感染真ただ中では、無理な話です。今しばらくは、嫌でも感染防御に努めるしかありません。

◆防御のために

どこでも換気
どこでもマスク
どこでも消毒



◆卒業する学生の皆さんへ

3年間の学校生活がようやく終わりですね。皆さんにとって、本校での3年間はどのようなものだったでしょうか。医療従事者になりたいという強い意志を持って入学した人や、それほど強い目的意識を持たずに入学した人もいます。

どんな人でも、3年経つと程度の差はありますが、医療への興味がわき、不安を抱えながらも医療従事者としての役割を自覚してくると思います。

機会があるごとに直接あるいは間接的に皆さんに伝えてきたことは、医療はとってもいい仕事ということです。

私は外科医になって44年経つ今でも外科医になってよかったと思っていますし、生まれ変わってももう一度外科医になりたいと思うほどです。

そう思う一番の理由は、好きな仕事で楽しく、自分のした仕事で人に喜ばれるからです。人に喜ばれることで、自分も嬉しくなり幸せを感じます。医療職は20数職種あり、その誰もがそのように思っているわけではないでしょうが、そのように思っている人が多いのも確かです。

人間の満足には、体の満足、頭の満足、心の満足があります。

体の満足とは、食欲や性欲を満たしたときに感じる満足です。

頭の満足とは、思いを遂げたとき、試験に合格したとき、昇進したときに感じる満足です。

心の満足とは、自分が人の役にたったときや、人に必要とされているときに感じる満足です。自分が人の役に立ったと感じたとき、オキシトシンという幸せホルモンが出ます。授乳中のお母さんは、そのオキシトシンの影響で、母乳の分泌が高まるだけでなく、幸せを感じることができるのです。

どの満足も大切な満足ですが、一番長続きして、自分の意思次第で得ることができるのが心の満足です。お年寄りや体の不自由な人に席を譲る、車いすをそっと押してあげる、献血をすることで、そのような喜びを感じたこともあるでしょう。

それが心の満足です。そのような満足を、日常的に仕事の中で感じる事ができるのが、医療であると思っています。

医療は人の命を預かる厳しい仕事であるので、生半可な気持ちで患者さんに接することはできません。常に緊張感を持ち続ける必要があります。もちろん緊張感はその仕事でも必要であることはいまでもありません。自分がお世話した患者さんが、元気になれるのを見るだけで「オキシトシン」がジワーっと出てくるのが分かります。その患者さんから、お礼の言葉をかけられるとオキシトシンの分泌はさらに高まります。

皆さんは卒業して色々な医療の現場に入っていきます。最初は緊張感ががちがちになるでしょう。当たり前です。それでも、できる範囲で患者さんに寄り添い一生懸命患者さんに対応することで、医療の喜びを感じるようになってきます。

学校で習ったことは医療の基本の基本に過ぎません。卒業してからも常に学び続けることが大切です。

容易に、めげない・逃げない・くじけないで、常に高めをみざし、良い医療従事者になってください。大いに期待しています。

